

平成30年度第1回佐賀大学契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成30年8月9日（木） 附属図書館4階 会議室	
出席委員 (敬称略)	<p>○委員長 安 永 宏 (安永法律事務所 弁護士)</p> <p>○委員 柿 原 剛 人 (柿原公認会計士事務所 公認会計士)</p> <p>高 塚 明 (佐賀県県土整備部 建設・技術課長)</p>	
審議対象期間	物品・役務契約 : 平成29年10月 ～ 平成30年3月 工事契約 : 平成29年10月 ～ 平成30年3月 フォローアップ : 平成29年10月 ～ 平成30年3月	
個別審査案件	9件	○議 事 (1) 物品・役務・工事等契約の審査について ①国立大学法人佐賀大学情報入出力運用支援サービス 一式 ②コンプライアンス情報収集システム 一式 ③電動リモートコントロールベッド 一式 ④佐賀大学医学部附属病院医事業務 一式 ⑤佐賀大学医学部附属病院収納窓口業務 及び未収債権管理・督促補助等業務 一式 ⑥共焦点レーザー蛍光顕微鏡 一式 ⑦入退室管理システムICカードリーダー交換 一式 ⑧佐賀大学(本庄町1)総合研究1号館 デジタルファブリケーション演習室等改修工事 一式 ⑨佐賀大学(本庄町1)附属図書館便所改修機械設備工事 一式 (2) 一者応札・応募等事案フォローアップについて ①佐賀大学(鍋島1)自家発電設備保全業務 一式 ②佐賀大学(鍋島1)医病医療ガス設備保全業務 一式 ③佐賀大学医学部附属病院医事業務 一式 (3) 契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置について (4) その他
一般競争入札方式	9件	
最低価格方式	4件	
総合評価方式	1件	
価格交渉方式	4件	
指名競争入札方式	0件	
最低価格方式		
総合評価方式		
随意契約方式	0件	
企画競争 公 募		
競争性のない随意契約		
不落随意契約		
フォローアップ案件	3件	
事前審査案件		
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の内容	なし	

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>1. 物品・役務・工事等契約の審査について</p> <p>① 国立大学法人佐賀大学情報入出力運用支援サービス 一式 【一般競争入札（総合評価落札方式）】 （経理調達課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競争参加資格をA等級から2級下位へ広げる理由は何か。 ・競争参加資格を拡大することで、最低何者参加しなければならないという基準はあるか。 ・いくら等級を広げても仕様書の基準が厳しく、事実上一者しか応札できないのであれば意味がない。しかし、仕様書を誰でも参加できるように質を下げるということでもないはずである。よって制度そのものに限界があると思う。 <p>② コンプライアンス情報収集システム 一式 【一般競争入札（最低価格落札方式）】 （経理調達課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終的に一者応札になった理由について思い当たる点はあるか。 <p>③ パラマウントベッド(株)製 電動リモートコントロールベッド 一式 【一般競争入札（価格交渉落札方式）】 （経営管理課）</p>	<p>(契約部署より契約の概要説明が行われた。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定価格の積算上はA等級しか参加できないが、門戸を広げるため、佐賀大学契約事務取扱規程第5条第3項により、1級上位、2級下位まで参加できるようにしている。 ・最低何者といった基準はない。 <p>(契約部署より契約の概要説明が行われた。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元々最初に公告した時は2者が説明会に参加しており、競争参加資格審査も合格だったが、応札仕様が2者とも本学の仕様を一部満たしていないと審査で判断され不合格となった。そこで、再度仕様書を見直し再公告したが、結果的に1者が仕様を満たすことが出来ず辞退した。 <p>(契約部署より契約の概要説明が行われた。)</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・入札公告から応札までの期間は基準の10日以上となっているが、正月連休や土日は含めるのか。 ・落札率が100%、これは積算価格が事前公表されているのか。 ・予定価格は公表しているのか。 ・見積りを取る会社は、最低何者以上とか決まっているのか。 ・参考見積りを出したのはこの会社（落札業者）なのか。 ・ここしか取り扱っていないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土日を含めて10日以上となっている。今回、当案件は入札公告から入札まで21日間の期間を設けている。 ・公表していない。 納入実績等を積み上げての積算と参考見積額を比較し、安価な方を予定価格とした。結果的に、入札金額が参考見積額と同額で入札されたため、100%となった。 ・事後も公表していない。 ・決まっていない。 ・この会社である。 ・過去の実績では他の業者も取り扱いがあったが、結構前の実績だったため声かけまではしていない。
<p>④ 佐賀大学医学部附属病院医事業務 一式 【一般競争入札（価格交渉落札方式）】 （経営管理課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前から同じ業者なのか。 ・他大学病院等の契約状況を把握しているか。 ・予定価格の積算根拠を見ても、参考見積から若干下回っているようだが。 	<p>(契約部署より契約の概要説明が行われた。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ業者である。 ・九州圏内の各国立大学に確認したところ、すべての大学（琉球大を除く）において本学と同じくA者の1者応札であった。 ・5回の開札を繰返し、1者応札ではあるが価格は下がっている。
<p>⑤ 佐賀大学医学部附属病院収納窓口業務及び未収債権管理・督促補助等業務 一式 【一般競争入札（価格交渉落札方式）】 （経営管理課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<p>(契約部署より契約の概要説明が行われた。)</p>

<p>⑥ 共焦点レーザー蛍光顕微鏡 一式 【一般競争入札（最低価格落札方式）】 （経営管理課）</p> <p>・特になし</p>	<p>(契約部署より契約の概要説明が行われた。)</p>
<p>⑦ 入退室管理システム IC カードリーダー交換一式 【一般競争入札（最低価格落札方式）】 （経営管理課）</p> <p>・公告の期間が短いように思われるが。</p>	<p>(契約部署より契約の概要説明が行われた。)</p> <p>・予算の配分が2月に行われ、年度内の契約が必要という状況だった。また、予算が計画の一部しか認められず、財源の確保と調整に要する時間もあり、このような調達日程になってしまった。</p>
<p>⑧ 佐賀大学（本庄町1）総合研究1号館デジタルファブリケーション演習室等改修工事 【一般競争入札（最低価格落札方式）】 （企画管理課）</p> <p>・大学の場合は、入札金額が最低制限価格を下回った場合でも、一発失格にはならないのか。</p>	<p>(契約部署より契約の概要説明が行われた。)</p> <p>・失格にはならない。1000万円を超えると低入札価格調査を行い、理由があれば契約ができる。しかし、2億円を超えると重点調査となり、重点調査の場合は短期間で大量の資料を提出しなければならないので、ほとんどの場合契約できない。</p>
<p>⑨ 佐賀大学（本庄町1）附属図書館便所改修機械設備工事 【一般競争入札（価格交渉落札方式）】 （企画管理課）</p> <p>・応札してさらに価格交渉する制度があるのか。</p>	<p>(契約部署より契約の概要説明が行われた。)</p> <p>・価格交渉は現在試行中である。工事については、1000万円未満の入札に対し行っている。</p>

<p>2. 一者応札・応募等事案フォローアップについて</p> <p>①佐賀大学（鍋島1）自家発電設備保全業務 （企画管理課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約監視委員会のコメントは、特になし。 <p>②佐賀大学（鍋島1）医病医療ガス設備保全業務 （企画管理課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約監視委員会のコメントは、特になし。 <p>③佐賀大学医学部附属病院医事業務 （経営管理課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約監視委員会のコメントは、特になし。 <p>3. 契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約監視委員会のコメントに対して本学が講ずる措置については、すべて了承された。 <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一者応札率は以前より改善されているのか。現在は何%なのか。 ・一者応札率を改善するために取組みをしているので、そういった視点でも整理していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正式には算出していない。今のところ国への報告も求められていない。
--	---